

土壌汚染対策について

空気調査及び地下水質調査

- ・豊洲市場では、市場業務を行う地上部の安全を確認するため、定期的に空気調査及び地下水質調査を実施
- ・令和3年11月までに測定した空気調査及び地下水質調査の結果について、令和3年12月27日に専門家の評価を付して公表

1 調査の概要及び調査結果

(1) 空気調査

ア 調査の概要

建物1階（5か所）、屋外（4か所）、地下ピット（10か所）の19か所で、ベンゼン、シアン、水銀を毎月測定

イ 採取日

令和3年11月22日～23日

ウ 調査結果

調査物質	基準値等	単位	建物1階	屋外	地下ピット
ベンゼン	0.003 (1年平均値)	mg/m ³	0.0007～0.0010	0.0007～0.0008	0.0005～0.0008
シアン	0.003	mg/m ³	不検出	不検出	不検出
水銀	0.04 (1年平均値)	μg/m ³	不検出	不検出	不検出～0.004

※令和2年12月～令和3年11月測定値の平均値。不検出の場合は定量下限値として算出。

(2) 地下水質調査

ア 調査の概要

調査物質の濃度が高い箇所を中心に選定した濃度確認用観測井戸（28か所）、街区全体のバランスを考慮し選定した全体確認用観測井戸（17か所）の45か所で、ベンゼン、シアン、ヒ素を3か月ごとに測定

イ 採取日

令和3年11月14日～23日

ウ 調査結果

調査物質	基準値	単位	濃度確認用観測井戸	全体確認用観測井戸
ベンゼン	0.01	mg/L	不検出～1.1	不検出～0.066
シアン	検出されないこと (定量下限値:0.1mg/L未満)	mg/L	不検出～1.1	不検出～0.6
ヒ素	0.01	mg/L	0.006～0.038	不検出～0.036

2 専門家の評価の概要（12月27日公表時）

（1）空気調査結果

建物1階部分、屋外、地下ピット内のいずれの空気についても大気環境基準等に適合しており、前回の調査結果（9月30日公表）と同様に、科学的な視点から安全は確保された状態にあると考えられる。

（2）地下水質調査結果

前回の調査結果（9月30日公表）と比べ、濃度が上昇傾向を示した地点や低下傾向を示した地点も存在しているが、全体的に見れば、大きく汚染状況が変化した傾向は確認できない。

3 第11回「豊洲市場における地下水等管理に関する協議会」の開催について

(1) 開催概要

- ・日時 令和4年1月20日(木) 12:08~13:15
- ・形式 web会議(オンライン)

(2) 報告事項

ア 空気・地下水質調査結果について

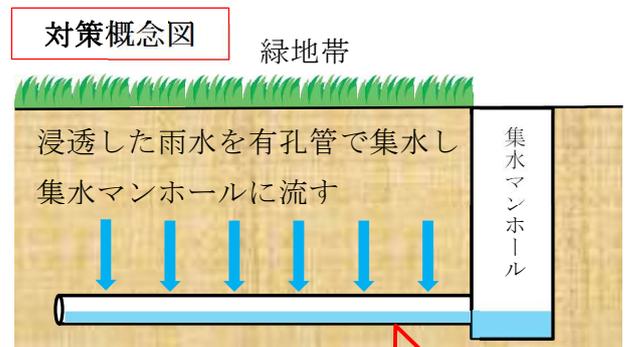
- ・過去1年間分の調査結果を改めて報告
- ・専門家は、空気については「建物1階部分、屋外、地下ピット内のいずれの結果も大気環境基準等に適合しており、科学的な視点から安全は確保された状態にあると考えられる」、地下水質については「濃度が上昇傾向を示した地点や低下傾向を示した地点も存在しているが、全体的に見れば、大きく汚染状況が変化した傾向は確認できない」と評価

イ 地下水位の状況について

- ・過去1年間分の水位データを改めて報告

ウ 地下水位上昇抑制対策について

- ・6街区の一部で試行した地下水位上昇抑制対策の検証結果を報告
- ・降雨時における水位上昇抑制効果及び高い集水能力が確認されたこと、引き続きモニタリングを継続していくことを報告



エ 地下ピット内の施設の維持管理について

- ・専門家会議により確認された「東京都による今後の管理」(平成30年7月)に基づき実施している地下ピット内の施設の維持管理について、これまでの取組実績と令和4年度の取組を報告

